

【専門基礎分野】

科目名	臨床判断Ⅰ (変化への気づきと判断：呼吸器疾患)	講師名	専任教員	学 年	1	履 修 期	第2学期	
単 位	1 単位							
時間数	1 5 時間							
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。							
授業概要	COPD患者の事例を用いて、状態の変化に気づき、何が起きているのかを考えられるよう、協同学習（TBL）を通して看護を導く臨床判断の基礎的能力を養う。							
授業科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器の正常な構造と機能からCOPDの病態へ変化する病因と症状出現のメカニズムが理解できる。 2. COPDの病態と症状と検査の関連、COPDの病期と症状と治療の関連について理解できる。 3. 臨床判断のプロセスを学ぶことによって、どのように反応し、行動していくのか考えることができる。 							
授業計画	<p>1回： 1. 呼吸器の正常な構造と機能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 呼吸器の構造 <ol style="list-style-type: none"> (1) 肺の構造 (2) 気管・気管支の構造 (3) 縦郭の構造 2) 呼吸の生理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 呼吸調節 (2) 換気運動 (3) ガス交換 (4) 酸塩基平衡 <p>2～6回： 2. COPDの病態の理解（COPD患者事例を用いる）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病因が正常な機能に及ぼす影響 2) 病態と検査との関係 <ol style="list-style-type: none"> (1) 呼吸機能検査 (2) 画像検査 3) COPDの症状 <p>3. 体の変化に合わせて考える（急性期）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 急性期の症状と治療の関係 <p>4. 体の変化に合わせて考える（慢性期）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 慢性期の症状と治療の関係 <p>7回：体に起こっていることの理解と判断</p> <p>8回：終了試験</p>					TBL学習 講義	TBL学習 講義	発表
評価方法	ポストテスト（40%）、発表点（10%）、課題（50%）							
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器, 医学書院. 3. 系統看護学講座 別巻 臨床検査, 医学書院. 4. 系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと促進 [2] 薬理学, 医学書院. 5. 系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能 [3] 栄養学, 医学書院. 6. 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法, 医学書院. 							
参考書	病気がみえる（呼吸）							
学生へのメッセージ	<p>「なんでだろう」という気づきを大切に、看護実践して行く上での判断について学んで下さい。</p> <p>【関連科目】解剖生理学Ⅱ、病理学Ⅱ、薬理学、臨床治療論、栄養学</p>							